



2017年3月期 第1四半期 決算説明会

パイオニア株式会社
代表取締役 兼 社長執行役員
小谷 進

2016年8月5日

本日の発表のポイント

1. 2017年3月期 第1四半期 連結決算実績:

- 売上は、カーエレクトロニクスが円高や熊本地震の影響等により減少したことなどから、前年同期を下回った
- 営業利益は、季節要因に加え熊本地震の影響はあったが、主に販売費及び一般管理費の減少により、前年同期、計画ともに上回った
- 当期純損益は、営業利益の増加に加え為替差益が増加したことなどにより、黒字転換

2. 2017年3月期 連結業績予想:

- 最近の為替動向を反映し、前回予想に対して売上高は減少を見込むが、上期・通期の利益予想は据え置く

本日の説明

1. 2017年3月期 第1四半期連結決算
2. 2017年3月期 連結業績予想

当プレゼンテーション中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いします。また、当社は新たな情報、将来の事象、その他の結果によってこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上する米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合併、提携またはその他事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

1. 2017年3月期 第1四半期連結決算

2017年3月期 第1四半期：連結業績概要

(単位:億円)

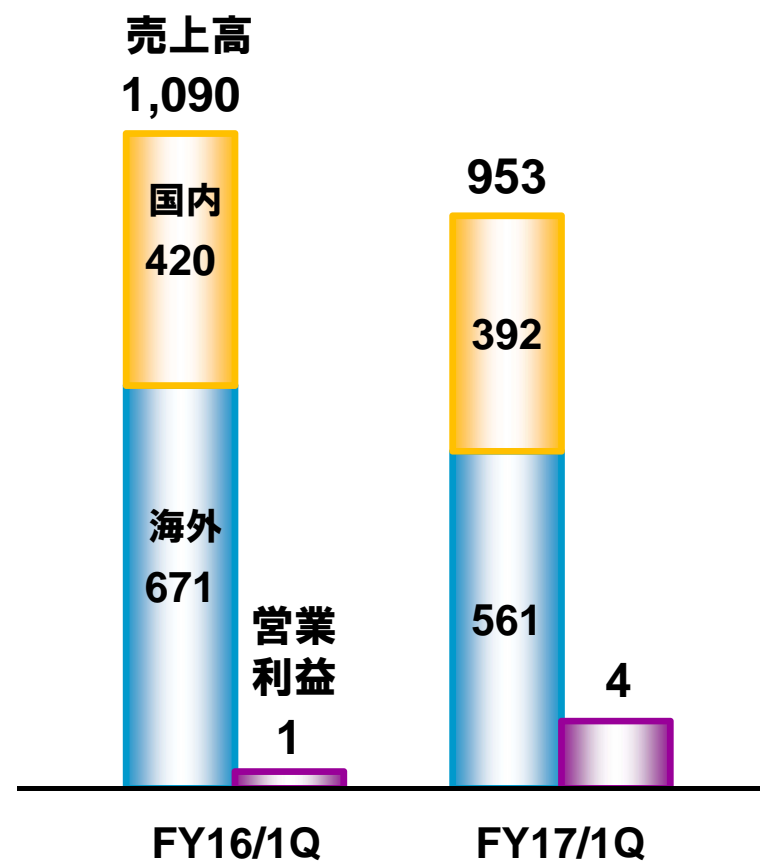
(単位:億円)

	当四半期	前年同期	前年同期比
売上高	953	1,090	87.4%
営業利益	4	1	5.4倍
経常損益	20	-6	-
当期純損益*	13	-25	-

為替 平均レート	1USDドル	108.14円	121.36円	-12.2%
	1ユーロ	122.02円	134.16円	-9.9%

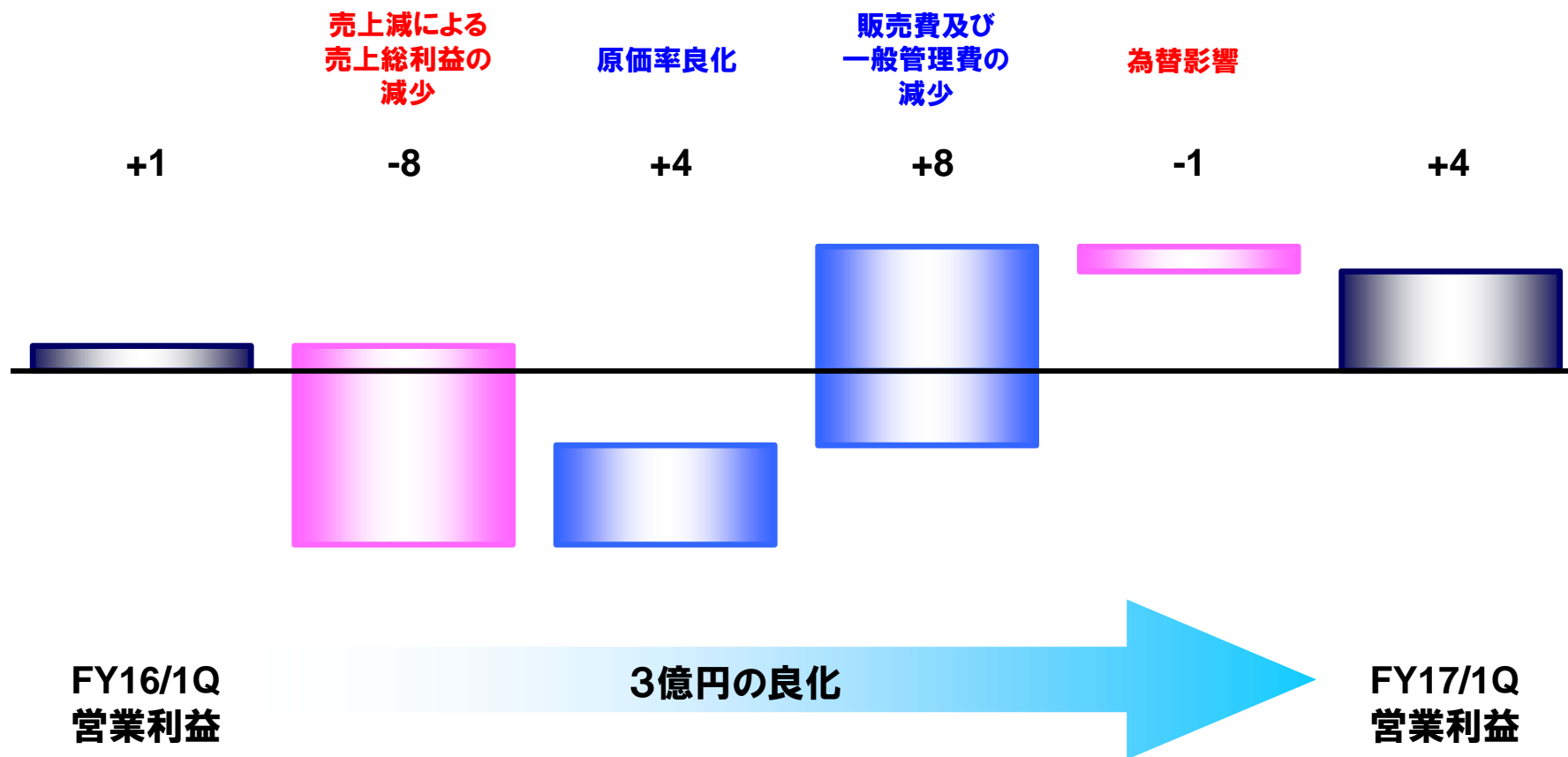
1株当たり純損益*	3.46円	-6.85円	+10.31円
ROE	6.2%	-9.9%	+16.1%
1株当たり純資産	213.28円	274.73円	-61.45円
ROA	1.8%	-3.1%	+4.9%

* 親会社株主に帰属する当期純損益

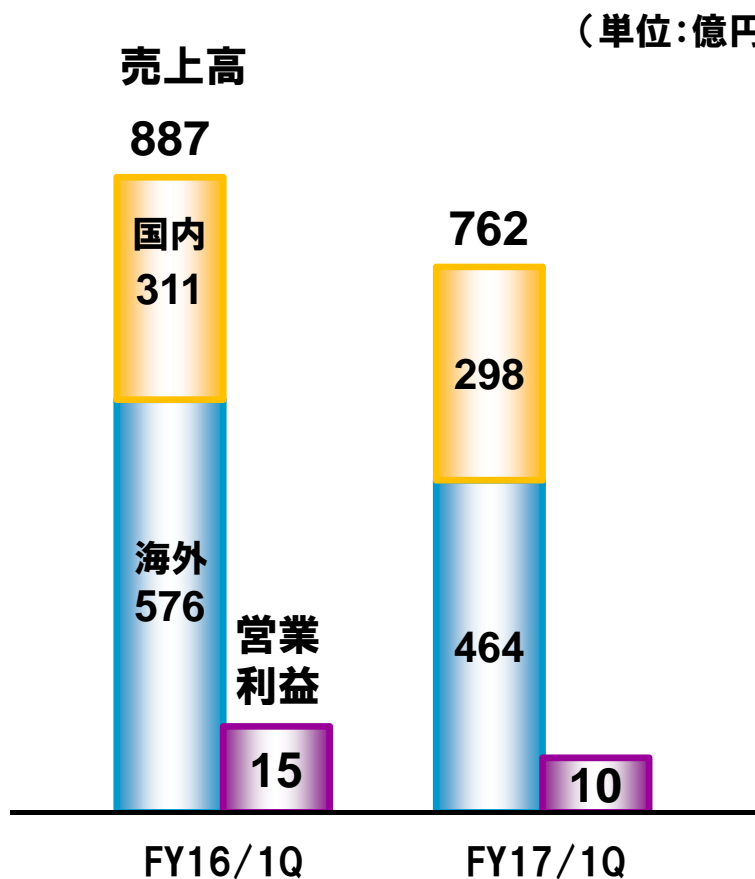


2017年3月期 第1四半期： 営業利益増減要因

(単位:億円)



2017年3月期 第1四半期：カーエレクトロニクス



< 売上高 > OEM比率 62% (前年同期 61%)

前年同期比	86% (国内 96%、海外 80%)
増収要因	市販カーナビゲーションシステム
減収要因	OEMカーオーディオ 市販カーオーディオ OEMカーナビゲーションシステム

< 営業利益 >

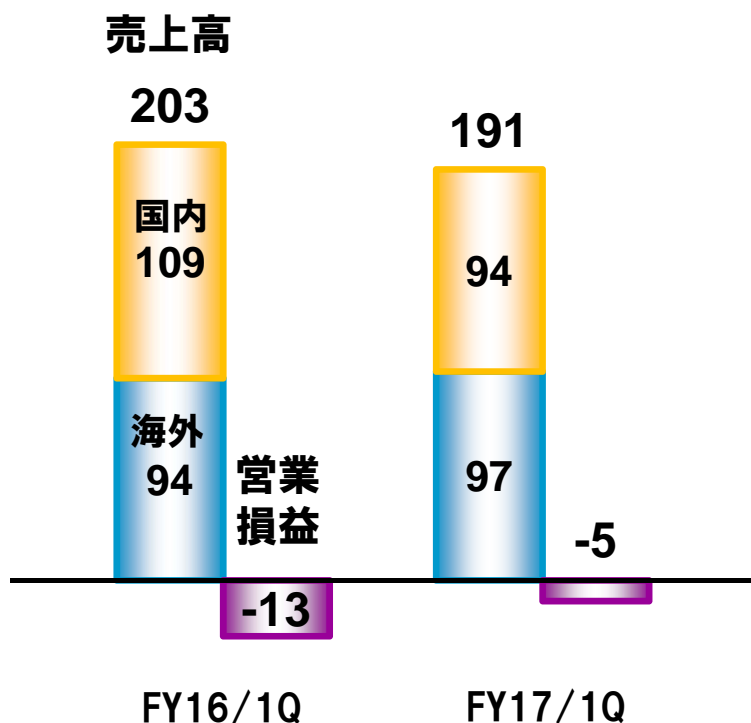
前年同期比	6億円の悪化
良化要因	販売費及び一般管理費の減少(+6億円)
悪化要因	売上減に伴う売上総利益減少(-10億円) 原価率の悪化(-3億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品:
カーナビゲーションシステム、カーステレオ、カーAVシステム、
カースピーカー、地図ソフト

- 注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。
2. 従来「その他」に含まれていた地図ソフトを、当期から「カーエレクトロニクス」に変更しています。これに伴い、前年同期の金額についても組替表示しています。

2017年3月期 第1四半期：その他

(単位:億円)



< 売上高 >

前年同期比	94% (国内 87%、海外 103%)
増収要因	FA機器、有機ELディスプレイ
減収要因	光ディスクドライブ、電子部品

< 営業損益 >

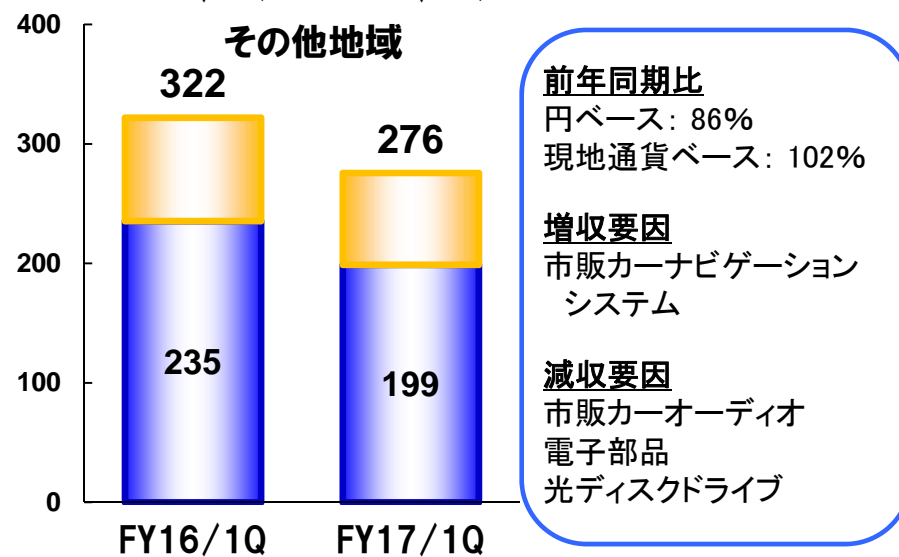
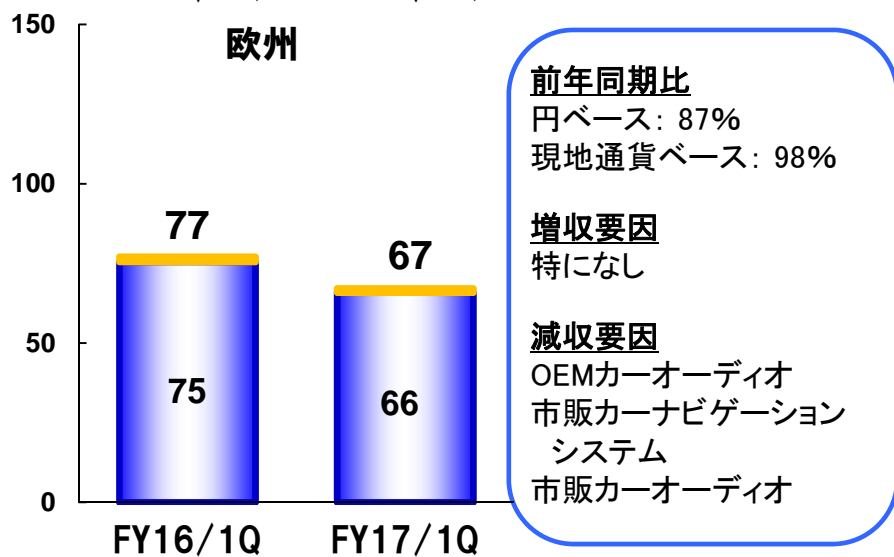
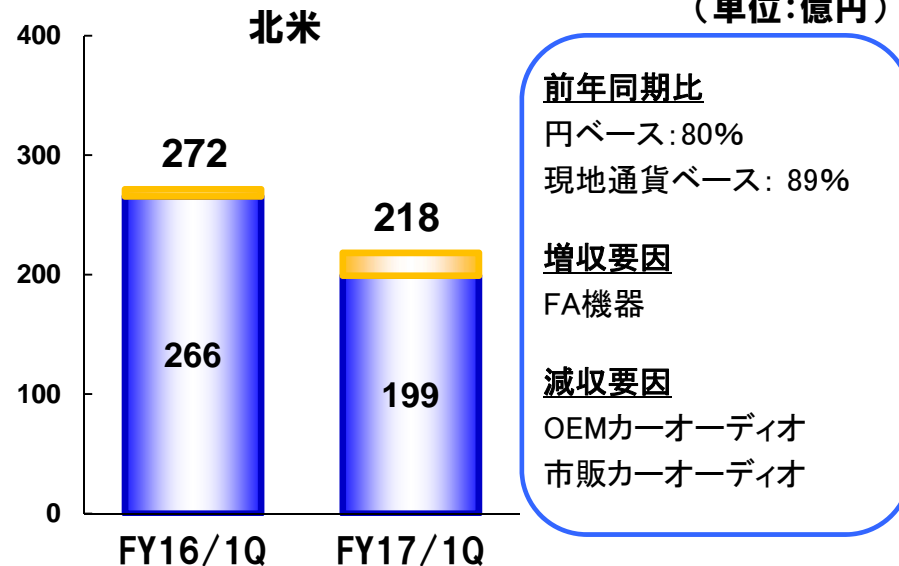
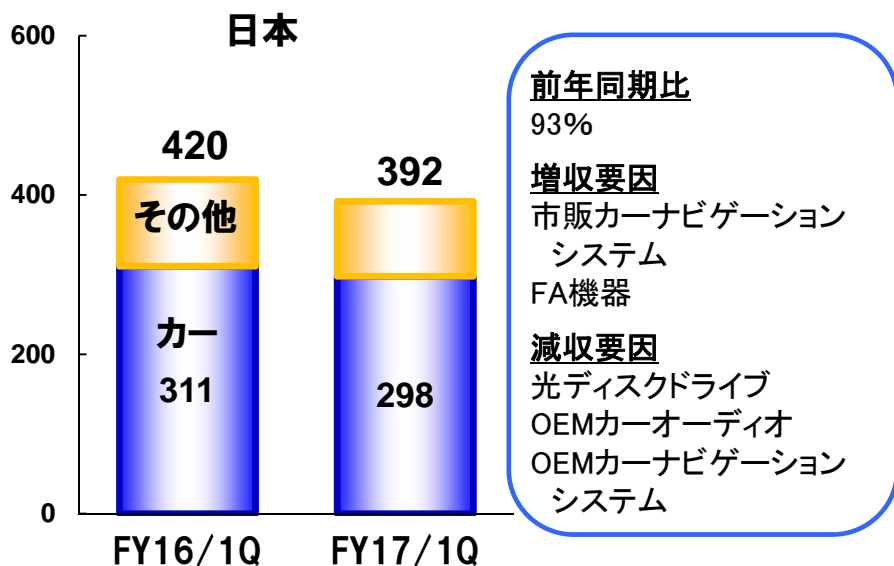
前年同期比	8億円の良化
良化要因	原価率良化(+11億円)
悪化要因	為替影響(-1億円) 販売費及び一般管理費の増加(-1億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品：
光ディスクドライブ関連製品、CATV関連機器、FA機器、電子部品、有機ELディスプレイ、DJ機器(生産・販売受託)、ホームAV(販売受託)

注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。
2. 従来「その他」に含まれていた地図ソフトを、当期から「カーエレクトロニクス」に変更しています。これに伴い、前年同期の金額についても組替表示しています。

2017年3月期 第1四半期：地域別売上高

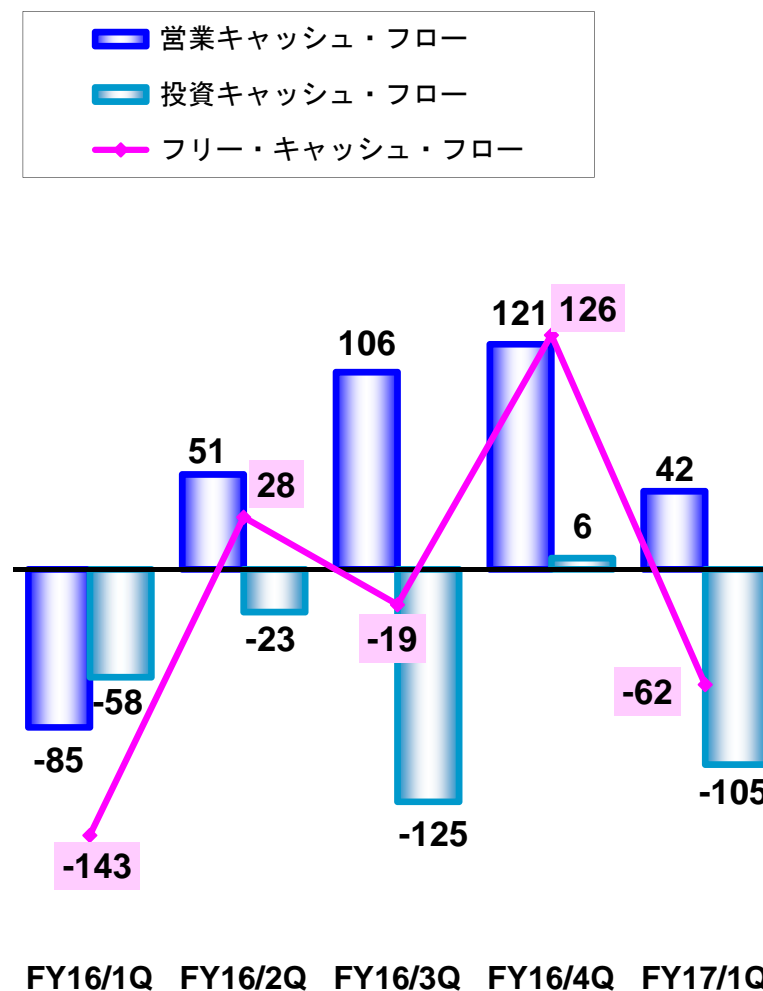
(単位:億円)



2017年3月期 第1四半期：連結キャッシュ・フロー計算書

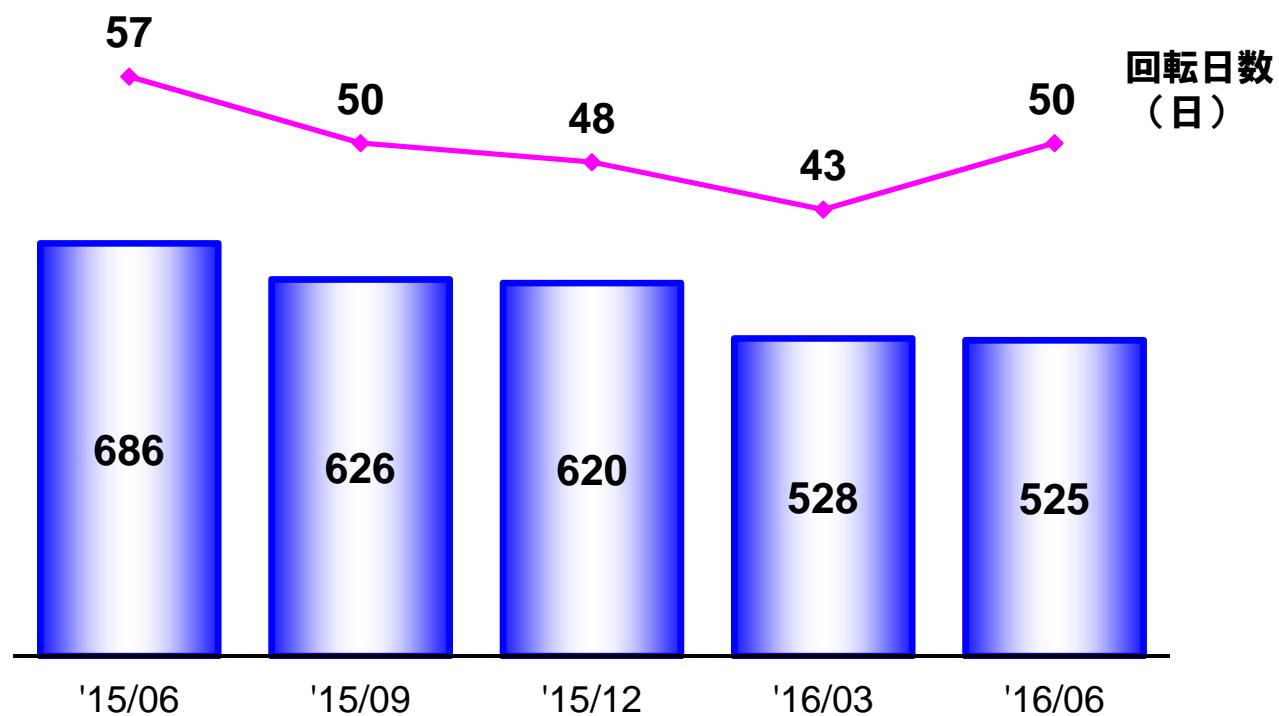
(単位:億円)

	当四半期	前年同期
税金等調整前当期純損益	19	-11
減価償却費	64	69
退職給付に係る負債の減少	-5	-4
売上債権の減少	87	36
棚卸資産の増加	-25	-45
仕入債務の減少	-50	-0
未払費用の減少	-25	-113
その他	-23	-17
営業キャッシュ・フロー	42	-85
投資キャッシュ・フロー	-105	-58
財務キャッシュ・フロー	-20	-9
現金・現金同等物の換算差額	-28	6
フリー・キャッシュ・フロー	-62	-143
現金・現金同等物の減少	-110	-147
現金・現金同等物の残高	410	370
NETキャッシュ残高	63	28



2017年3月期 第1四半期：棚卸資産

(単位：億円)



2. 2017年3月期 連結業績予想

2017年3月期：連結業績予想

(単位:億円)

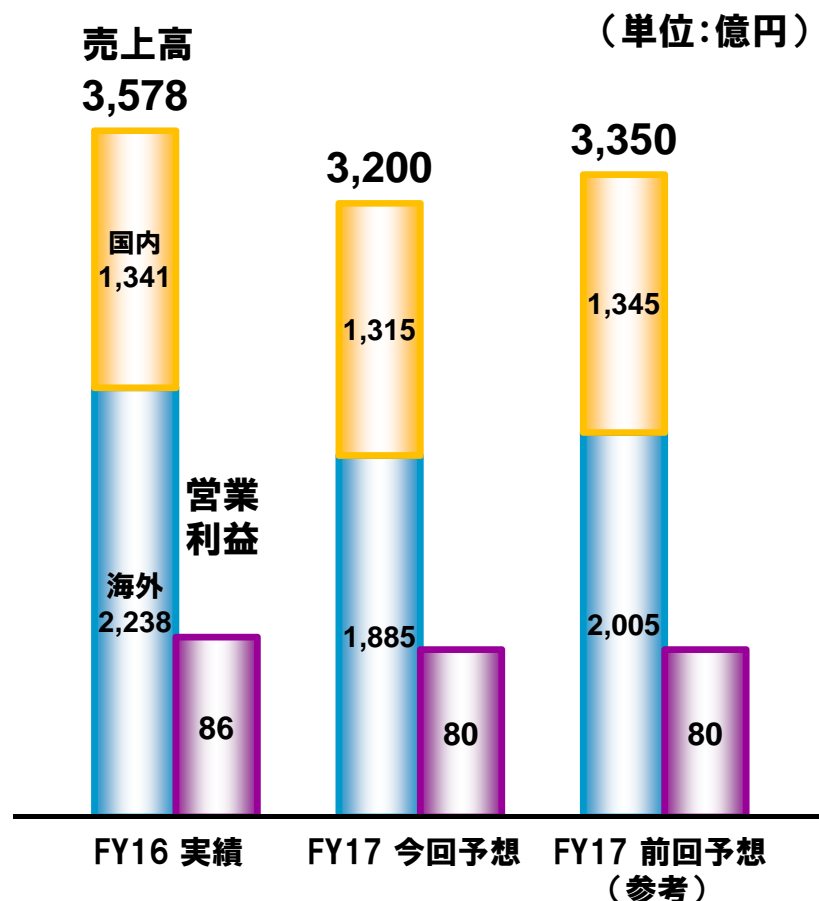
	上期			通期			
	今回予想	前回予想 (参考)	前期実績	今回予想	前回予想 (参考)	前期実績	
売上高	1,930	2,000	2,226	4,000	4,200	4,496	
営業利益	15	15	21	80	80	73	
経常利益	10	10	14	70	70	73	
当期純損益*	-20	-20	-20	10	10	7	
為替 前提レート	1USDドル	106.57円	115円	121.80円	105.79円	115円	120.14円
	1ユーロ	118.51円	125円	135.07円	116.76円	125円	132.58円
1株当たり純損益*	-5.45円	-5.45円	-5.43円	2.72円	2.72円	1.99円	
ROE				1.2%	1.2%	0.8%	
1株当たり純資産				212.54円	236.04円	233.32円	
ROA				0.3%	0.3%	0.2%	

* 親会社株主に帰属する当期純損益

注) 1. 残り9カ月間の予想レートは、1USDドルは105円、1ユーロは115円を前提にしています。

2. 1円の円高インパクト(残り9カ月間)は、売上高では、USDドルは▲約14.8億円、ユーロは▲約1.6億円、営業利益では、USDドルは+約0.9億円、ユーロは▲約1.1億円。

2017年3月期予想：カーエレクトロニクス



< 売上高 > OEM比率 58% (前期 60%)

前期比	89% (国内 98%、海外 84%)
増収要因	地図ソフト、市販カーナビゲーションシステム
減収要因	OEMカーオーディオ OEMカーナビゲーションシステム 市販カーオーディオ

< 営業利益 >

前期比	6億円の悪化
良化要因	原価率の良化 (+23億円) 為替影響 (+1億円)
悪化要因	売上減による売上総利益の減少 (-19億円) 販売費及び一般管理費の増加 (-11億円)

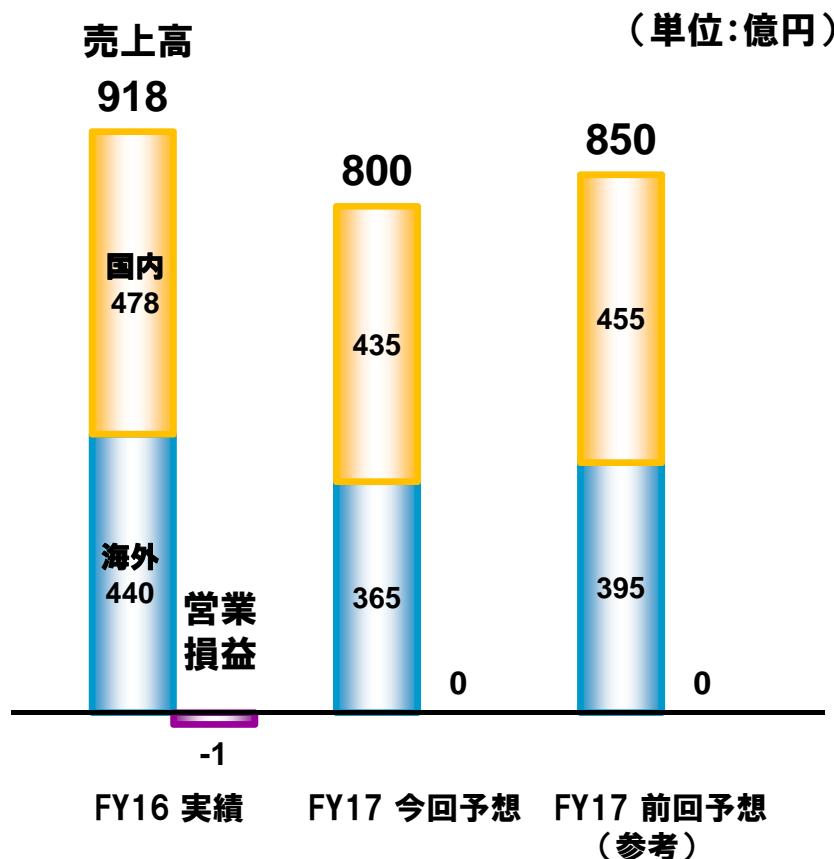
< 出荷台数 > (単位:千台)

	FY16実績	FY17予想 (*)
市販カーナビ	691	710
市販カーCD	5,784	6,100
市販カーAV	1,432	1,540

(*) 当初予想から変更ありません。

- 注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。
 2. 従来「その他」に含まれていた地図ソフトを、当期から「カーエレクトロニクス」に変更しています。これに伴い、前期の金額についても組替表示しています。

2017年3月期予想：その他



< 売上高 >

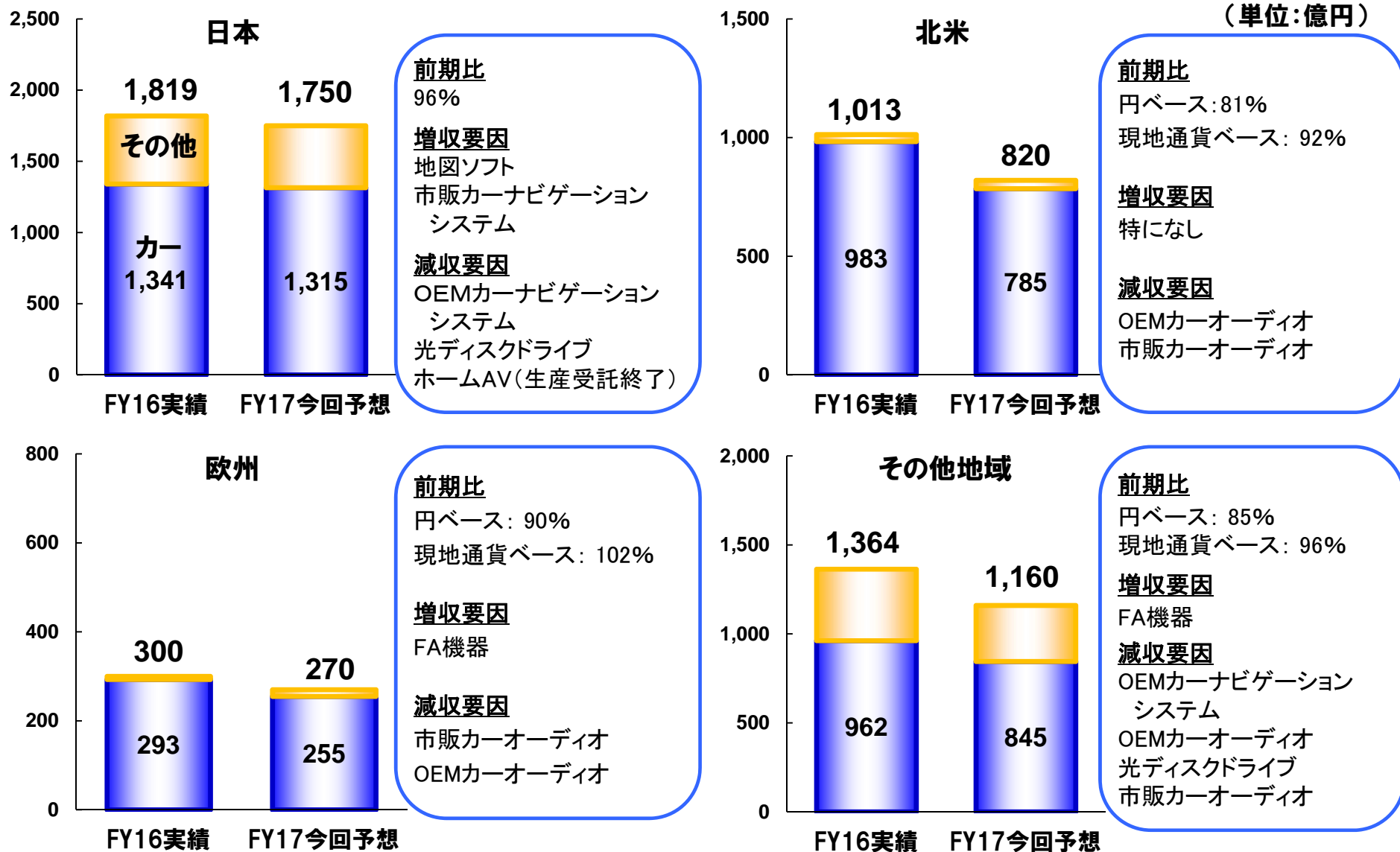
前期比	87% (国内 91%、海外 83%)
増収要因	FA機器
減収要因	光ディスクドライブ ホームAV(生産受託終了)

< 営業損益 >

前期比	1億円の良化
良化要因	原価率の良化 (+22億円) 為替影響 (+3億円)
悪化要因	販売費及び一般管理費の増加 (-18億円) 売上減による売上総利益の減少(-6億円)

- 注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。
 2. 従来「その他」に含まれていた地図ソフトを、当期から「カーエレクトロニクス」に変更しています。これに伴い、前期の金額についても組替表示しています。

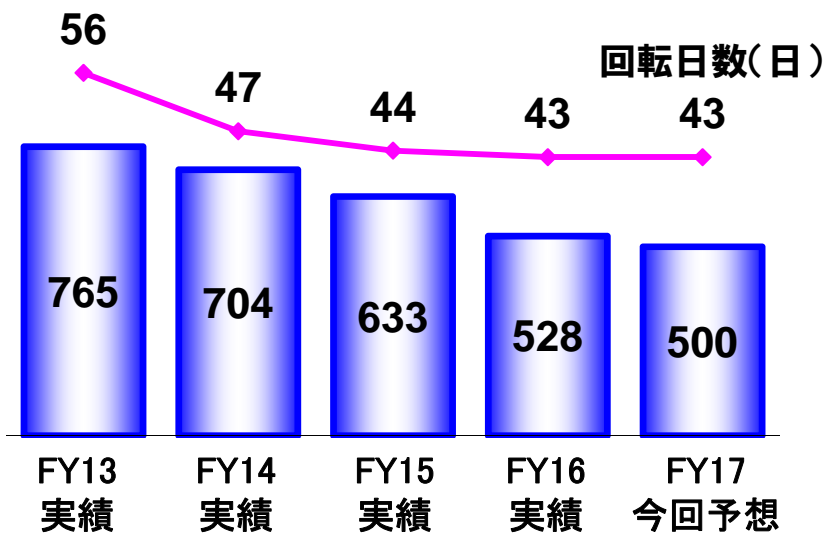
2017年3月期予想：地域別売上高



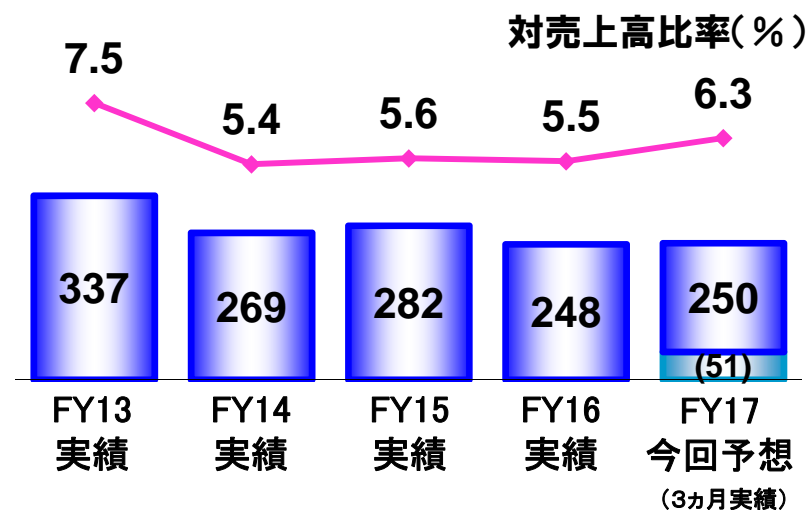
2017年3月期予想：棚卸資産、研究開発費、設備投資、減価償却費

(単位:億円)

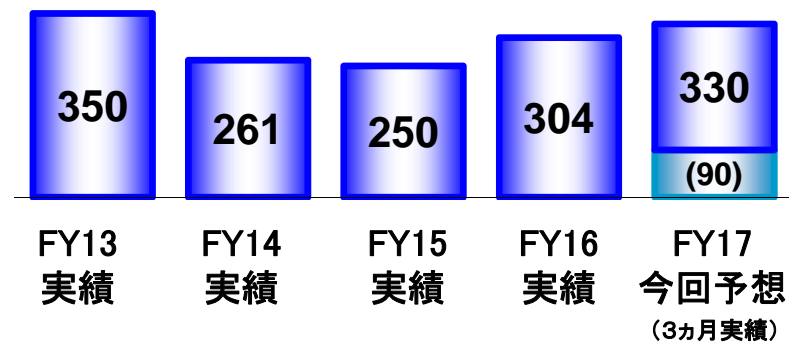
棚卸資産



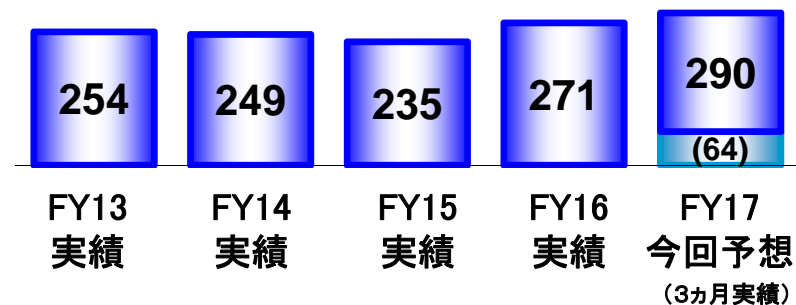
研究開発費



設備投資



減価償却費



2017年3月期予想： キャッシュ・フローおよび財務指標

(単位：億円)

	FY16実績	FY17今回予想	FY17前回予想 (参考)
営業キャッシュ・フロー	193	250	250
投資キャッシュ・フロー	-201	-330	-330
財務キャッシュ・フロー	34	-40	-40
フリー・キャッシュ・フロー	-8	-80	-80
純資産	905	820	910
自己資本比率	29%	28%	29%
借入金	373	340	350
D/E比率	0.4倍	0.4倍	0.4倍
現金及び預金	520	370	400

注) D/E比率=有利子負債÷(純資産-非支配株主持分)

Pioneer